

TOYOHASHI / AICHI / JAPAN

地域に根ざし、 知能を社会実装する。

企業の現場を理解し、人とともに進化する
AIネイティブな業務基盤を構築します。

JAPAN'S STRUCTURAL CHALLENGE

29.3%

人を減らすためではない。
限られた人で、価値を高めるために。

熟練者の知識を残し、現場の判断を支え、定型業務を軽くする。AIは人の代替ではなく、能力を拡張する基盤です。

出典：内閣府「令和7年版高齢社会白書」

WHY NOW

AIは、チャット画面ではなく 企業インフラになる。

約3割の中小企業がAI活用に着手。次の差は、ツールの有無ではなく、
業務・データ・判断へどう統合するかで生まれます。

出典：中小企業庁「2026年版 中小企業白書・小規模企業白書」

WHO WE ARE

企業の知識を、 動く仕組みに変える。

Tsutsumi AI Techは豊橋を拠点に、業務を理解し、知識をつなぎ、意思決定を支えるインテリジェント業務システムとAIネイティブ製品を開発します。

業務を理解する

知識をつなぐ

判断を支える



LOCAL VALUE

豊橋の現場から、 地域課題を地域の 資産へ。

製造、農業、サービス、金融。現場に蓄積された経験をデータと知識に変え、地域企業が持続的に成長できる仕組みをつくります。

製造

農業

サービス

金融

FOUNDER / DIOGE TSUTSUMI

人を理解する経験と、 システムを構築する力。

30年以上にわたり、コミュニケーション、ブランド、デジタル体験、製品、業務システムを横断。2016年のIBM Watsonとの接点から、AIを実務へ統合する研究と開発を続けています。

COMMUNICATION ————— PRODUCT ————— SYSTEMS ————— AI · SINCE 2016

OUR METHOD

課題を理解し、小さく証明し、安全に育てる。

技術起点ではなく、現場の課題起点。導入後の運用と改善までを一つの設計として扱います。



PRODUCT PROOF / IN DEVELOPMENT

受付から経営判断まで、 一つの流れに。

Tsutsumi Insurance OS

展示会・窓口・顧客対応・案件管理・分析を統合し、現場の情報を意思決定へつなぐインテリジェント業務基盤。

RESPONSIBLE AI

速さより先に、 信頼を設計する。

人が最終判断

必要最小限のデータ

権限と操作ログ

停止・復旧の設計

重要な判断は人が担い、AIの役割・限界・責任を明確にします。

90-DAY PILOT

一つの現場。一つの課題。 一つの評価指標。

DAY 01-30

理解と定義

対象業務、課題、データ、責任範囲、
評価指標を合意します。

DAY 31-60

試作と検証

実際に触れられるプロトタイプを構
築し、現場で検証します。

DAY 61-90

実証と判断

効果・リスク・運用条件を可視化し、
次の投資判断へつなげます。

最初から大きく導入しない。小さく確かめ、根拠を持って育てる。

CO-CREATION REQUEST

豊橋から、共創を始めたい。

豊橋市・支援機関

実証機会と地域接続

地域企業の課題とのマッチング、実証フィールド、制度活用への伴走。

金融機関

事業開発資金と信頼

開発・運転資金、地域ネットワーク、成長段階に応じた継続支援。

TSUTSUMI AI TECH

設計・開発・成果責任

課題整理、試作、実装、セキュリティ、運用支援、効果報告までを担います。

ご相談したいこと

事業開発資金

地域事業者との実証機会

長期的な伴走連携

豊橋市「未来産業創出事業補助金」等の地域支援方針を参照

TOYOHASHI・AICHI・JAPAN

豊橋から、 次の企業インフラを。

まずは一つの現場、一つの課題から。

contact@tsutsumitech.com

tsutsumitech.com



公式サイト・連絡先